

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続的可能な農山漁村等地域育成への貢献

タイトル 青年部による食農教育活動

J A 名 J A あがつま（群馬県）

1 動機 （経緯）	食と農のつながりの大切さを次世代に伝えていくため、青年部が主体となり、平成 26 年度から、J A 管内の児童を対象とした食農教育活動を本格的にスタートしました。
2 概要	平成 26 年度は、児童とその保護者合わせて約 30 名が参加し、サツマイモの栽培から加工までを、全 5 回に分けて体験しました。 ○第 1 回 6 月中旬 サツマイモ苗の植え付け ○第 2 回 7 月下旬 経過観察・除草作業 ○第 3 回 10 月中旬 サツマイモの収穫 ○第 4 回 11 月中旬 サツマイモの加工（乾燥イモ作り） ○第 5 回 12 月下旬 イラストシール作り・乾燥イモの袋詰め
3 成果 （効果）	参加者からは「とても楽しかった」「食物を育てる大変さが実感できた」などの感想が寄せられ、企画意図である『食と農のつながりの大切さ』を感じてもらうことができました。
4 今後の 予定（課題）	平成 27 年度は、大豆の栽培と味噌豆腐作りを行うこととしており、昨年度を上回る児童・保護者の方にご参加いただいております。こうした活動を通じて、子供たちに農業の楽しさや苦勞を学んでもらえればと考えています。

【植え付けの様子】



【収穫の様子】



【加工の様子】



【袋詰めの様子】

